

平成 18 年 7 月 20 日

各 位

会社名 モーニングスター株式会社  
(コード番号 4765)  
(上場取引所 大証 ヘラクレス)  
代表者 代表取締役 COO 朝倉 智也  
開示責任者 取締役 CFO 小川 和久

## 平成 18 年 12 月期 中間決算の業績について

平成 18 年 12 月期 中間決算（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）の業績が、前年同期と比較して、大幅な増収・増益となりますので下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1 平成 18 年 12 月期中間（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）連結業績の前年同期比較の増加額

(単位：百万円，%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
平成 18 年 6 月中間期 (A)	855	374	309
平成 17 年 6 月中間期 (B)	619	134	149
増 減 額 (B - A)	235	240	160
増 減 率 (%)	38.0	178.9	107.8
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 12 月期)	1,259	263	263

### 2 平成 18 年 12 月期中間（平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）単体業績の前年同期比較の増加額

(単位：百万円，%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
平成 18 年 6 月中間期 (A)	592	262	243
平成 17 年 6 月中間期 (B)	310	61	35
増 減 額 (B - A)	282	201	207
増 減 率 (%)	91.1	327.3	579.8
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 12 月期)	630	105	134

### 3 増収・増益の理由

当社グループの事業に関連性の高い投資信託市場においては、国内投資信託の純資産残高が平成18年6月末において58兆8,146億円と平成17年6月末の45兆769億円と比較して1年間で、13兆7,376億円(30.5%)の増加となるなど、当中間期は事業環境が良好でありました。

このような事業環境は、当社グループの全ての商品・サービスへの需要に反映され、売上高は、前年同期の619百万円から235百万円(38.0%)の増収となる855百万円となりました。

営業利益は、売上利益率の比較的高い売上区分の増加割合が高かったこと及び原価削減努力によって、売上総利益率が54.5%から58.0%へ3.5ポイント改善したことに加え、平成17年12月に子会社イー・アドバイザー株式会社を合併し、経営資源を統合することによって効率化を図った成果が表れ、販売費一般管理費が、前年同期に比べ27百万円の増加に留まった結果、営業利益は、前年同期の132百万円から130百万円(98.5%)の増益となる263百万円となりました。

営業外収益に、保有するファンドの分配利益87百万円、関連会社である株式会社株式新聞社の持分法投資利益19百万円などが計上された結果、経常利益は、前年同期の134百万円から240百万円(178.9%)の増益となる374百万円となりました。

平成17年12月に合併した子会社イー・アドバイザー株式会社より引き継いだ繰越欠損金の税効果が生じた結果、中間純利益は前年同期の149百万円から160百万円(107.8%)の増益となる309百万円となりました。

以 上

\*\*\*【本件に関するお問い合わせ】\*\*\*\*\*

モーニングスター株式会社：<http://www.morningstar.co.jp/> 管理部

電話： 03(6229)0810 ファクシミリ： 03-3589-7963 メール：[mstar@morningstar.co.jp](mailto:mstar@morningstar.co.jp)